

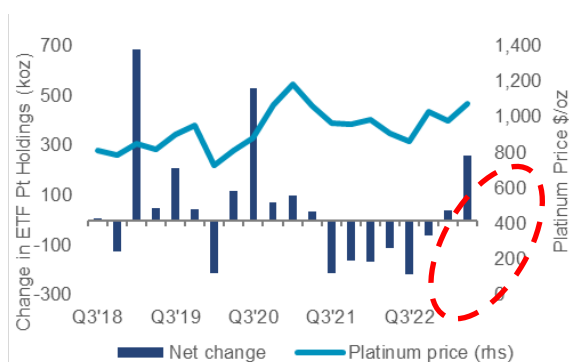
ポジティブな ETF 投資の復活か。プラチナ投資の増加で供給不足が拡大する可能性も

今年は31.1トンもの供給不足と予測されているプラチナ市場を投資の好機と捉える南アフリカの投資家は、プラチナ ETF 保有高を年初から 13.4 トンも増やしているが、それとは対照的に北米と欧州の投資家は ETF の売却を続けている。その結果、ネットベースでポジティブ 11.2 トンに増えた ETF 投資需要は欧米投資家の 1.9 トンの売却で、9.3 トンに減った。しかしプラチナが供給不足という予測情報が広まるにつれて、欧米でも ETF 需要がポジティブに転じる可能性があり、そうなれば供給不足はますます深まることになるだろう。

2021 年から 2022 年にかけてプラチナ ETF が 24.9 トン近くも大量に売却されたのは、高い配当を求める投資家の動きとプラチナ市場のフォワードカーブがバックワーデーションになっていたのが背景にある。2023 年の見通しはその当時よりはポジティブであるが、実質金利は上がり続けており、『プラチナ四半期レポート』の 2023 年の ETF 需要予測はネットわずか 0.9 トンというものだった。これは南アフリカの投資家は、よりポジティブなセンチメントに傾いているが、その大部分は ETF 売却を続けている欧米の投資家の動きに打ち消されてしまっているからだ。しかし南アフリカの投資家のプラチナ ETF 購入は今や大きく予想を超え、第 1 四半期と第 2 四半期はそれぞれ 5.0 トン、8.7 トンとなって、過去 6 四半期連続で流出していた資金の流れは反転している。

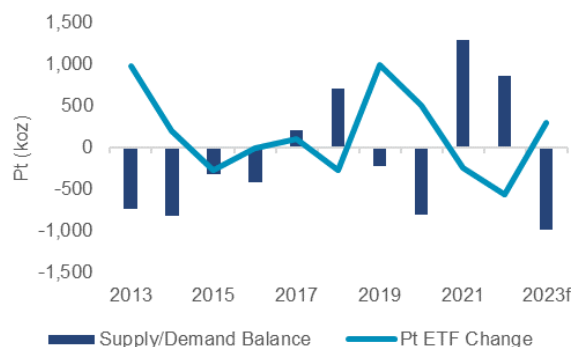
では、南アフリカの投資家は欧米や日本の投資家よりも、なぜそれほどにまでポジティブなのだろうか。自国が世界最大の PGM 生産国である南アフリカの投資家はプラチナ市場に関して最も知識が豊富だと言えよう。31.1 トンもの供給不足という予測が及ぼす影響、そして国内の電力危機とインフレが PGM 鉱山会社にいかに深刻な状況を引き起こすかを肌で感じており、2021 年～2022 年にプラチナへの投資よりも鉱山会社株への投資を選択していた時と逆の流れが生じているようだ。

ETF 商品に対する需要は、ほとんど消えていたところからネットベースでポジティブに



資料:メタルズフォーカス、ブルームバーグ、WPIC リサーチ

プラチナ ETF 投資への資金流入は市場が供給不足の時に増えてきた



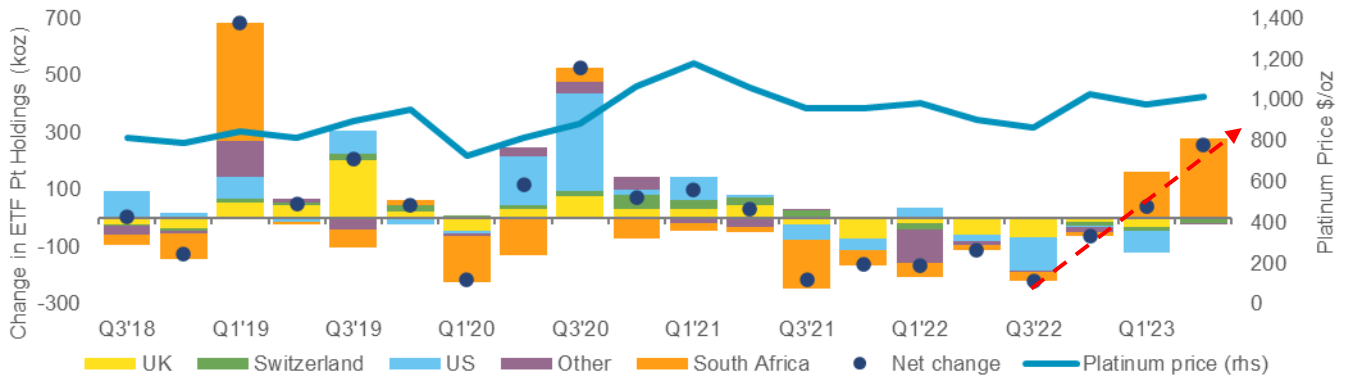
資料: 2019 年～2023 年予測はメタルズフォーカス、2013 年～2018 年は SFA(オックスフォード)、ブルームバーグ、WPIC リサーチ

そしてその他の地域の投資家センチメントも徐々に回復してきている。米国と日本のプラチナ ETF 投資の流れはここ数週間でポジティブに転じており、英国でもポジティブ領域に入りそうな気配が見られる。インゴットとコインの需要に関しても第 1 四半期全体では 2023 年の予測通りのポジティブなデータが表れている。

北米と欧州での売却を含むネットベースのプラチナ ETF へのネットベースの資金流入は年初から現時点で 9.3 トン以上となっており（当初の予測は 0.9 トン）、このペースで流入が続けば、供給不足は 40.4 トンにまで増える可能性すらある。

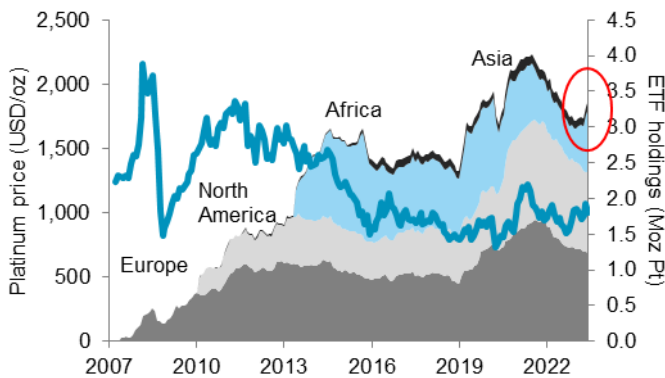
2021 年までは米国と英国の投資家は、2019 年は 14.0 トン、2020 年は 19.3 トンと、プラチナ ETF 商品を大量に買い付けていた。両国の投資家が過去最大に迫る勢いで ETF 投資を行えば、31.1 トンと予測される供給不足は大きく拡大する可能性もある

図 1: プラチナ ETF 商品への需要は 2023 年上半期に急増。南アフリカが先頭に立ってネットベースで資金流出の流れを逆転させ、第 2 四半期だけでも 8.7 トンの需要増となった。これは南アフリカの投資家が供給不足予測を受けてプラチナへの投資を増やしているのが理由かもしれず、米国と欧州の投資家がこの流れに乗るかどうか焦点となるだろう。そうなればプラチナ需要はさらに増え、現在のペースで投資需要が伸びれば、ETF 商品への需要は我々の年間予測を超えるだろう。



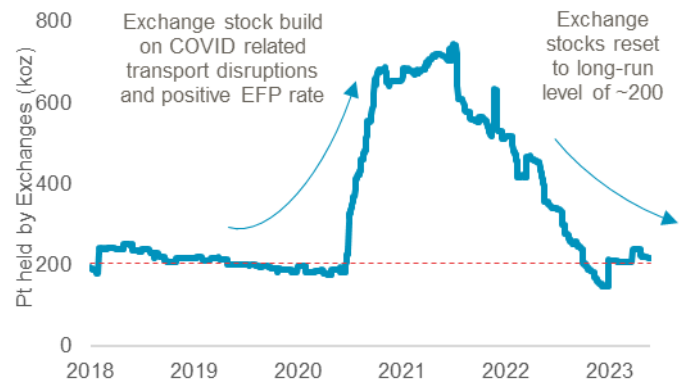
資料: ブルームバーグ、WPIC リサーチ

図 2: 流れがポジティブに変わって以来、ETF 保有は 9.3 トン以上増え、全体ではほぼ 1 割増の 105.7 トン



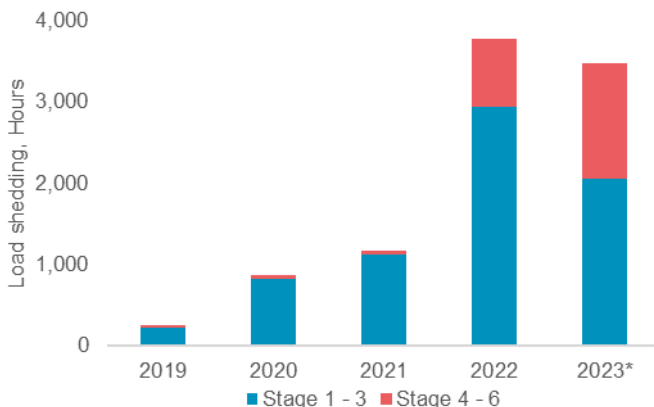
資料: ブルームバーグ、WPIC リサーチ

図 3: 2021 年にコロナ禍による流通経路の中断が懸念されて取引所在庫が急激に増加。その後は平均的な水準に戻り、過去には市場への供給元となったような大量流出はないだろう



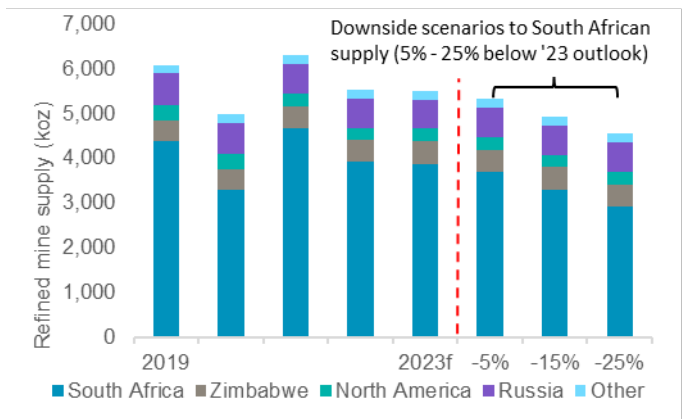
資料: ブルームバーグ、WPIC リサーチ

図 4: 南アフリカの電力危機は悪化し、計画停電の頻度と電力削減量は増える一方。さらに深刻化すれば 15% あるいはそれ以上の鉱山供給の減少を招く可能性がある



資料: Eskom Se Push, WPIC リサーチ *現在までの計画停電

図 5: 2023 年の鉱山供給予測は現時点で前年と変わらないが、南アフリカの電力問題と鉱山会社が直面するその他の問題などで、減少のリスクが大いにある。15% 供給が減れば 31.1 トンの供給不足に 18 トンが上乗せ



資料: 2019 年~2022 年予測はメタルズフォーカス、2013 年~2018 年は SFA(オックスフォード)、ブルームバーグ、WPIC リサーチ

免責条項:

当出版物は一般的なもので、唯一の目的は知識を提供することである。当出版物の発行者、ワールド・プラチナ・インベストメント・カウンシルは、世界の主要なプラチナ生産会社によってプラチナ投資需要発展のために設立されたものである。その使命は、それによって行動を起こすことができるような見識と投資家向けの商品開発を通じて現物プラチナに対する投資需要を喚起すること、プラチナ投資家の判断材料となりうる信頼性の高い情報を提供すること、そして金融機関と市場参加者らと協力して投資家が必要とする商品や情報ルートを提供することである。

当出版物は有価証券の売買を提案または勧誘するものではなく、またそのような提案または勧誘とみなされるべきものでもない。当出版物によって、出版者はそれが明示されているか示唆されているかにかかわらず、有価証券あるいは商品取引の注文を発注、手配、助言、仲介、奨励する意図はない。当出版物は税務、法務、投資に関する助言を提案する意図はなく、当出版物のいかなる部分も投資商品及び有価証券の購入及び売却、投資戦略あるいは取引を推薦するものとみなされるべきでない。発行者はブローカー・ディーラーでも、また2000年金融サービス市場法、Senior Managers and Certifications Regime 及び金融行動監視機構を含むアメリカ合衆国及びイギリス連邦の法律に登録された投資アドバイザーでもなく、及びそのようなものと称していることもない。

当出版物は特定の投資家を対象とした、あるいは特定の投資家のための専有的な投資アドバイスではなく、またそのようなものとみなされるべきではない。どのような投資も専門の投資アドバイザーに助言を求めた上でなされるべきである。いかなる投資、投資戦略、あるいは関連した取引もそれが適切であるかどうかの判断は個人の投資目的、経済的環境、及びリスク許容度に基づいて個々の責任でなされるべきである。具体的なビジネス、法務、税務上の状況に関してはビジネス、法務、税務及び会計アドバイザーに助言を求めるべきである。

当出版物は信頼できる情報に基づいているが、出版者が情報の正確性及び完全性を保証するものではない。当出版物は業界の継続的な成長予測に関する供述を含む、将来の予測に言及している。出版者は当出版物に含まれる、過去の情報以外の全ての予測は、実際の結果に影響を与えうるリスクと不確定要素を伴うことを認識しているが、出版者は、当出版物の情報に起因して生じるいかなる損失あるいは損害に関して、一切の責任を負わないものとする。ワールド・プラチナ・インベストメント・カウンシルのロゴ、商標、及びトレードマークは全てワールド・プラチナ・インベストメント・カウンシルに帰属する。当出版物に掲載されているその他の商標はそれぞれの商標登録者に帰属する。発行者は明記されていない限り商標登録者とは一切提携、連結、関連しておらず、また明記されていない限り商標登録者から支援や承認を受けていることはなく、また商標登録者によって設立されたものではない発行者によって非当事者商標に対するいかなる権利の請求も行われな

WPIC のリサーチと第2次金融商品市場指令 (MiFID II)

ワールド・プラチナ・インベストメント・カウンシル(以下 WPIC) は第2次金融商品市場指令に対応するために出版物と提供するサービスに関して内部及び外部による再調査を行った。その結果として、我々のリサーチサービスの利用者とそのコンプライアンス部及び法務部に対して以下の報告を行う

WPIC のリサーチは明確に Minor Non-Monetary Benefit Category に分類され、全ての資産運用マネジャーに、引き続き無料で提供することができる。また WPIC リサーチは全ての投資組織で共有することができる。

1. WPIC はいかなる金融商品取引も行わない。WPIC はマーケットメイク取引、セールストレード、トレーディング、有価証券に関わるディーリングを一切行わない。(勧誘することもない。)
2. WPIC 出版物の内容は様々な手段を通じてあらゆる個人・団体に広く配布される。したがって第2次金融商品市場指令(欧州証券市場監督機構・金融行動監視機構・金融市場庁)において、Minor Non-Monetary Benefit Category に分類される。WPIC のリサーチは WPIC のウェブサイトより無料で取得することができる。WPIC のリサーチを掲載する環境へのアクセスにはいかなる承認取得も必要ない。
3. WPIC は、我々のリサーチサービスの利用者からいかなる金銭的報酬も受けることはなく、要求することもない。WPIC は機関投資家に対して、我々の無償のコンテンツを使うことに対していかなる金銭的報酬をも要求しないことを明確にしている。

さらに詳細な情報は WPIC のウェブサイトを参照。

website: <http://www.platinuminvestment.com/investment-research/mifid-ii>

当和訳は英語原文を翻訳したもので、和訳はあくまでも便宜的なものとして提供されている。英語原文と和訳に矛盾がある場合、英語原文が優先する。